

令和2年度

教育委員会の自己点検・評価報告書

(令和元年度事業対象)



令和2年6月

菊川市 教育委員会



# 目 次

	ページ
1 教育委員会の点検・評価について	
1) 趣旨	2
2) 点検・評価の対象	2
3) 点検・評価シートの構成	2
4) 学識経験者の知見の活用について	3
5) 公表について	3
2 教育委員会の活動及び運営状況報告	
1) 教育委員会委員構成	4
2) 令和元年度教育委員会審議状況	5
(1) 菊川市教育委員会審議案件	5
(2) 菊川市教育委員会報告事項	8
3) 令和元年度教育委員会議以外の活動報告	9
3 自己点検・評価シート	
1) 教育委員会の活動「シート1」	11
2) 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」	12
3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」	13
こども政策課 事務事業評価	14
学校教育課 事務事業評価	16
教育総務課 事務事業評価	20
社会教育課（社会教育）事務事業評価	22
社会教育課（生涯学習・社会教育）事務事業評価	24
社会教育課（文化振興）事務事業評価	26
社会教育課（スポーツ振興）事務事業評価	28
図書館 事務事業評価	32
4 学識経験者の意見	
1) 外部評価	36

## 1. 教育委員会の点検・評価について

### 1) 趣旨

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業の取り組み状況について、教育委員会自らが点検評価を行うことが義務付けられました。

これは、教育委員会の今後の取組の方向性や課題を明らかにすることにより、政策効果、必要性、効率性等について、教育行政の一層の推進を図ることを目的としています。

また、結果に関する報告書を作成し、市議会へ提出するとともに一般市民に公表することにより、説明責任を果たし、信頼される教育行政の推進を目指してまいります。

### 2) 点検・評価の対象

点検・評価の実施にあたっては、令和元年度における教育委員会の活動や運営状況及び関係各課の事務事業を対象として点検評価を実施いたしました。

### 3) 点検・評価シートの構成

#### ① 教育委員会の活動及び運営状況「シート1」

令和元年度における教育委員会の活動及び運営状況の報告を行うとともに、会議の運営改善・公開、情報発信等の活動や運営について、自らが行う事業や活動を中心に6つの項目に分け、点検事項として小項目を設け、各項目の点検評価を行いました。

#### ② 教育委員会が管理・執行する事務「シート2」

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の定めるところによる、教育委員会が自ら管理・執行する事項について、12の項目に分け構成しました。

上記の①と同様に令和元年度における各事務の発生状況と対応状況について点検評価を行いました。

#### ③ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務「シート3」

規定により、教育委員会が管理・執行を教育長に委任して行う事務・事業のうち、教育委員会事務局を構成する各担当課が扱う施策ごとに体系図と点検評価のシートを作成し、施策を構成する主な事務事業の実施状況について点検し、評価を実施しました。

#### 4) 学識経験者の知見の活用について

法第26条2項の規定による「学識経験等の知見の活用」については、それぞれ関係する組織の代表者の皆様にお願ひし、評価結果に対するご意見をいただき外部評価としました。

#### 外部評価依頼者

	職 名		氏 名	対象事務事業
1	教育委員	元委員	佐々木和宏	教育委員会活動、学校教育
2	教育文化部	元部長	栗田 正弘	教育委員会活動、幼児教育
3	社会教育委員	委員長	中罵るり子	社会教育、文化振興・生涯学習
4	小中 PTA 連絡協議会	前会長	粕谷 友一	学校教育
5	子ども会連合会	会長	山地 由香	社会教育
6	文化協会	会長	伊藤 芳男	文化振興・生涯学習
7	文化財保護審議会	会長	北原 勤	文化財
8	〃	委員	後藤 道照	〃
9	スポーツ推進委員	委員長	安藤 正樹	スポーツ振興
10	NPO法人体育協会	会長	岩水 素江	スポーツ振興・生涯学習
11	スポーツ推進審議会	副会長	服部 茂和	スポーツ振興
12	図書館協議会	会長	山中 正美	図書館
13	〃	副会長	曾根 金美	〃
14	給食センター運営委員会	前委員長	山内 京子	学校給食
15	〃	前副委員長	杉山 展子	〃
16	公立幼稚園	元園長	山下 洋子	幼児教育
17	公立認定こども園	元園長	久島喜久江	教育委員会活動、幼児教育

#### 5) 公表について

公表については、菊川市のホームページに掲載するとともに、市役所本庁や小笠支所、菊川・小笠の両図書館に報告書を置き、閲覧できるようにいたします。

## 2. 教育委員会の活動及び運営状況報告

### 1) 菊川市教育委員会 委員構成

平成31年4月1日現在

職名	氏名	任期	
教育長	松本 嘉男	任期	H31.2.10~H34.2.9
		教育長任期	H31.2.10~H34.2.9
委員 (教育長職務代理者)	松下 彰	任期	H30.2.10~H34.2.9
		職務代理者任期	H28.2.10~H34.2.9
委員	赤堀 加世子	任期	H29.2.10~H32.2.9
	笹瀬 昌子	任期	H31.2.10~H35.2.9
	岡本 直彦	任期	H29.2.10~H33.2.9

### 菊川市教育委員会 委員構成

令和2年2月10日現在

職名	氏名	任期	
教育長	松本 嘉男	任期	H31.2.10~R4.2.9
		教育長任期	H31.2.10~R4.2.9
委員 (教育長職務代理者)	松下 彰	任期	H30.2.10~R4.2.9
		職務代理者任期	H28.2.10~R4.2.9
委員	笹瀬 昌子	任期	H31.2.10~R5.2.9
	岡本 直彦	任期	H29.2.10~R3.2.9
	伊藤 りさ	任期	R2.2.10~R6.2.9

## 2) 令和元年度 菊川市教育委員会審議状況

### (1) 菊川市教育委員会 審議案件

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
1	平成31年度準要保護世帯の認定について	4月16日	定例会	教育総務課
2	平成31年度就学支援委員の委嘱について	4月16日	"	学校教育課
3	平成31年度菊川市立小中学校主任等の任命について	4月16日	"	"
4	平成31年度小中学校評議員の委嘱について	4月16日	"	"
5	菊川市文化財保護審議会委員の委嘱について	4月16日	"	社会教育課
6	菊川城館遺跡群整備委員会委員の委嘱について	4月16日	"	"
7	菊川市社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	4月16日	"	"
8	菊川市スポーツ推進委員の委嘱について	4月16日	"	"
9	菊川市スポーツ委員の委嘱について	4月16日	"	"
10	菊川市立図書館協議会委員の任命について	4月16日	"	図書館
11	菊川市子ども読書活動推進協議会委員の任命について	4月16日	"	"
12	平成31年度幼稚園評議員の委嘱について	4月16日	"	こども政策課
13	指定学校変更について	5月21日	定例会	学校教育課
14	準要保護世帯の認定について	5月21日	"	教育総務課
15	菊川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱及び任命について	5月21日	"	"
16	菊川市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	5月21日	"	社会教育課
17	菊川市スポーツ委員の委嘱について	5月21日	"	"
18	菊川市菊川文化会館アエル運営委員の委嘱について	5月21日	"	"
19	菊川市青少年健全育成市民会議常任委員の委嘱について	5月21日	"	"
20	菊川市文芸誌編集委員の委嘱について	5月21日	"	"
21	菊川市行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例等の一部を改正する条例について	5月21日	"	"
22	菊川市家庭教育学級事業事務取扱要領の一部改正について	5月21日	"	"
23	令和元年度一般会計補正予算(第1号)(案)について	5月21日	"	調整室
24	準要保護世帯の認定について	6月18日	定例会	教育総務課
25	令和2年度～5年度使用小学校教科用図書及び令和2年度使用中学校教科用図書の採択について	7月16日	定例会	学校教育課
26	菊川市学校教職員の人事評価に係る相談及び意見の申出に関する取扱い要綱の制定について	7月16日	"	"
27	令和元年度 指定学校変更について	8月20日	定例会	学校教育課
28	菊川市文芸誌編集委員の委嘱について	8月20日	"	社会教育課
29	菊川市学舎運営協議会設置要綱の制定について	8月20日	"	学校教育課
30	菊川市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について	8月20日	"	社会教育課

議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
31	菊川市就学援助費支給要綱の全部改正について	8月20日	〃	教育総務課
32	菊川市特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について	8月20日	〃	〃
33	令和元年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	8月20日	〃	調 整 室
34	部活動を理由とする指定学校変更の取扱いについて	8月20日	〃	学校教育課
35	令和2年度指定学校変更について	10月15日	定例会	学校教育課
36	菊川市体育館、体育施設を付帯する都市公園等の指定管理者の指定について	10月15日	〃	社会教育課
37	教育委員会に属する職員の人事異動について	10月15日	〃	調 整 室
38	令和元年度一般会計補正予算(第3号)(案)について	10月15日	〃	〃
39	菊川市立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の廃止について	10月15日	〃	こども政策課
40	令和2年度 指定学校変更について	11月19日	定例会	学校教育課
41	準要保護世帯の認定について	11月19日	〃	教育総務課
42	令和2年度 指定学校変更について	12月16日	定例会	学校教育課
43	菊川市立学校教育職員の勤務時間の上限に関する方針について	12月16日	〃	〃
44	令和2年度 指定学校変更について	1月21日	定例会	学校教育課
45	準要保護世帯の認定について	1月21日	〃	教育総務課
46	菊川市社会教育指導員設置規則を廃止する規則について【取り下げ】	1月21日	〃	社会教育課
47	菊川市家庭教育指導員設置規則を廃止する規則について【取り下げ】	1月21日	〃	〃
48	菊川市教育委員会の権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の一部改正について	1月21日	〃	教育総務課
49	菊川市教育委員会専決規程の一部改正について	1月21日	〃	〃
50	菊川市招致外国青年就業規則の一部改正について	1月21日	〃	学校教育課
51	令和2年度 指定学校変更について	2月10日	定例会	学校教育課
52	準要保護世帯の認定について	2月10日	〃	教育総務課
53	令和2年度 菊川市教育の方針(案)について	2月10日	〃	〃
54	令和2年度給食実施回数について	2月10日	〃	〃
55	令和2年度給食費の額について	2月10日	〃	〃
56	令和元年度一般会計補正予算(第5号)(案)【教育文化部】について	2月10日	〃	調 整 室
57	令和2年度一般会計当初予算(案)【教育文化部】について	2月10日	〃	〃
58	令和元年度一般会計補正予算(第5号)(案)【こども未来部】について	2月10日	〃	〃
59	令和2年度一般会計当初予算(案)【こども未来部】について	2月10日	〃	〃
60	令和2年度教職員の人事異動について	2月28日	臨時会	学校教育課
61	令和2年度指定学校変更について	3月17日	定例会	学校教育課
62	準要保護世帯の認定について	3月17日	〃	教育総務課
63	令和元年度共通数値目標の報告と令和2年度の共通目標について	3月17日	〃	学校教育課



議案 番号	件 名	提出日		担 当 課
64	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	3月17日	〃	〃
65	菊川市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について	3月17日	〃	〃
66	菊川市立学校規則の一部改正について	3月17日	〃	〃
67	菊川市立小・中学校処務規程の一部改正について	3月17日	〃	〃
68	菊川市教育委員会公告式規則の一部改正について	3月17日	〃	教育総務課

令和元年度は合計で68件について審議を行いました。

#### 定例教育委員会の開催状況



## (2) 菊川市教育委員会 報告事項

番号	件名	提出日		担当課
1	平成31年度教育委員会事務局組織及び事務について	4月16日	定例会	調整室
2	平成31年度子ども未来部組織及び事務について	4月16日	"	"
3	平成31年度保育施設等の入所状況について	4月16日	"	子ども政策課
4	加茂小学校南校舎増築工事について	5月21日	定例会	教育総務課
5	小笠北地区の幼稚園・保育園再編に係る(福)みどり福祉会との協議結果について	5月21日	"	子ども政策課
6	菊川市立学校給食センター運営委員会の選出委員の変更について	6月18日	定例会	教育総務課
7	教育委員会から校長会への委託3行事の今後について	6月18日	"	学校教育課
8	平成29年度及び平成30年度教育委員会の自己点検・評価報告書について	6月18日	"	教育総務課
9	幼児教育・保育の無償化について	7月16日	定例会	子ども政策課
10	体育施設等の指定管理について	7月16日	"	社会教育課
11	小学校陸上大会、親睦音楽会について	7月16日	"	学校教育課
12	菊川市文化振興計画事業実施計画点検表(平成30年度)の報告について	8月20日	定例会	社会教育課
13	菊川市の教育2019について	8月20日	"	教育総務課
14	令和元年度 教育委員会の自己点検・評価報告書について	8月20日	"	"
15	幼児教育・保育の無償化に伴う令和元年度一般会計補正予算(第2号)(案)について	8月20日	"	調整室
16	牧之原小・中学校の訪問日程について	9月17日	定例会	教育総務課
17	令和元年度教育委員会視察研修について	9月17日	"	"
18	令和元年度教育委員会視察研修について	10月15日	定例会	教育総務課
19	第2期菊川市子ども・子育て支援事業計画について(中間報告)	11月19日	定例会	子ども政策課
20	令和2年 菊川市成人式について	12月16日	定例会	社会教育課
21	令和元年度一般会計補正予算(第5号)(案)について	1月21日	定例会	調整室
22	令和2年度一般会計当初予算(案)について	1月21日	"	"
23	令和2年度 菊川市教育の方針(案)について	1月21日	"	教育総務課
24	令和元年度卒業式・令和2年度入学式日時及び管理者告辞(案)について	1月21日	"	"
25	令和2年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程(案)について	1月21日	"	"
26	菊川市教育委員会教育委員の任命について	1月21日	"	"
27	専決処分の報告について(平成31年度国庫補助小学校施設整備事業加茂小学校増築工事に係る建築工事の請負契約の一部変更について)	2月10日	定例会	教育総務課
28	令和元年度 定期監査結果報告について	2月10日	"	"
29	令和元年度卒業式・令和2年度入学式日時及び管理者告辞(案)について	2月10日	"	"
30	新型コロナウイルスの学校対応について	2月28日	臨時会	学校教育課
31	菊川市立図書館デジタル化資料の複製等に関する要領の制定について	3月17日	定例会	図書館
32	令和2年度定例教育委員会及び学校訪問等の日程について	3月17日	"	教育総務課
33	新型コロナウイルス感染拡大防止対策について	3月17日	"	教育総務課
34	菊川市教育委員会1月定例会における議第46号及び議第47号の取り下げについて	3月17日	"	教育総務課

### 3) 令和元年度 教育委員会議以外の活動報告

#### (1) 学校及び教育施設訪問

小学校4校、中学校2校、公立幼稚園1園、教育施設2箇所の訪問を実施しました。

訪問日	訪問施設	訪問日	訪問施設
5月21日	菊川文庫	10月15日	内田小学校
6月18日	小笠北幼稚園	11月19日	菊川東中学校
7月16日	加茂小学校	12月16日	菊川西中学校
8月20日	体育協会	1月21日	小笠南小学校
9月17日	河城小学校		

#### (2) 会議・研修会

教育委員を対象とした次の講演会及び研修会に参加しました。

開催日	会議・研修名	出張先	出席者
4月9日	静岡県市町教育委員会教育長会	静岡市(県庁)	1名
4月12日	静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
5月8日	静岡県市町教育委員会連絡協議会総会	藤枝市	1名
5月15日	静岡県都市教育長協議会総会	富士市	1名
5月23・24日	全国都市教育長協議会定期総会	富山県	1名
6月18日	3市教育長会議	菊川市	1名
7月24日	静岡県市町教育長会連絡協議会	掛川市	1名
7月29日	3市教育長会議	菊川市	1名
7月30日	学び続ける教員研修会	菊川市	1名
10月7日	静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
10月30～31日	菊川市教育委員会視察研修会	岐阜県	5名
11月14日	市町教育委員会研修会	浜松市	1名
11月26日	静西教育長連絡協議会	掛川市	1名
12月19日	静岡県市町教育委員会研修会	浜松市	1名
2月6日	3市教育長会議	菊川市	1名

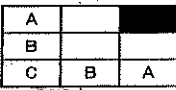



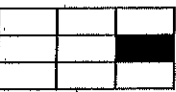
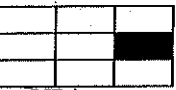


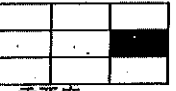
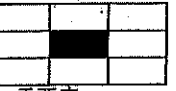

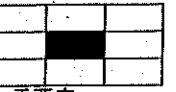
(3) 各種行事・大会

その他、次の各種行事・大会に参加しました。

開催日		行事・大会名	
開催月	行事・大会名	開催月	行事・大会名
4月	1日: 菊川市内教職員着任式 5日: 菊川市スポーツ少年団結団式 体育協会表彰式 5日: 小・中学校 入学式 6日: おおぞら認定こども園入園式 9日: 幼稚園 入園式 13日: 菊川市文化協会総会 21日: 市長杯小学生バレーボール大会	10月	9日: 指定研究発表会(横地小) 23日: 菊川市小学生陸上競技大会 27日: 菊川市シニアゲートボール大会
5月	19日: 菊川市写生大会 23日: 菊川市体育協会総会 25日: 市内高等学校野球大会	11月	2日: 菊川市文化祭 3日: スポーツクリエイションフェスティバル2019 : 縣市町村対抗駅伝結団式、壮行会 7日: 小中学校親睦音楽会 8日: 指定研究発表会(六郷小) 16日: 市制15周年記念事業「関口隆吉の 明治維新と国づくり」講演会&シンポジウム 30日: 第20回静岡県市町対抗駅伝競走大会
6月	2日: 菊川市写生大会表彰式 ビーチボール研修会 16日: 体力測定会&健康チェック 20日: こころの劇場 21日: 中学生ふるさと未来塾	12月	8日: 安全安心ひとづくり市民大会 15日: 第15回菊川Cityマラソン 19日: 県下一斉街頭生活指導
7月	6日: おはなしステーション 7日: 菊川市子ども会連合会ドッジボール大会 18日: 県下一斉街頭生活指導 28日: 三市交流実技研修会 30日: 学び続ける教員研修会	1月	10日: 「学びの庭」小中合同道徳授業 11日: 現役社会人野球選手に学ぶ少年少女野球教室 12日: 菊川市成人式 17日: 関口隆吉氏銅像除幕式 19日: 第15回市民健康駅伝競走大会 26日: 第9回深蒸し茶の里 菊川ファン駅伝
8月	4日: 菊川市陸上選手権大会 11日: 中村礼子さんによる水泳教室 スポーツ講演会 12日: アエル夏休み映画会2019 25日: ベタボード体験会	2月	2日: 第14回書初め展表彰式 3日: 「学びの庭」地域向け中間報告会 9日: ベタボード交流会 14日: 東海四県スポーツ推進委員研究大会
9月	15日: 縣市町対抗駅伝大会選手選考記録会 28日: 菊川美術展表彰式	3月	14日: おおぞら認定こども園卒園式 17日: 小笠北幼稚園卒園式 19日: 小・中学校 卒業式

# [自己点検・評価]

シート 1		(大項目)	教育委員会の活動									
表の見方	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A			B			C	B	A	実現度 A=達成又はほぼ達成している。(80%以上) B=概ね達成している(60%以上80%未満) C=努力を要する。(60%未満)	重要度 A=非常に重要 B=重要 C=緊急性は無い
A												
B												
C	B	A										
シート1	シート2											
中項目	小項目	点検・評価										
(1)教育委員会の会議の運営改善	①教育委員会会議の開催回数	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td>A</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>B</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>C</td><td>B</td><td>A</td></tr> </table> →重要度	A			B			C	B	A	・定例会を12回、臨時会を1回開催し、68件の議案について審議した。
	A											
B												
C	B	A										
②教育委員会会議の運営上の工夫	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・会議時間の短縮に努めた。 ・資料の事前配布を行った。 ・定例教育委員会の開催年間スケジュールを作成した。	
(2)教育委員会の会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	①教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和元年度定例会において、傍聴者はいなかった。
②議事録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和元年度は開示請求がなかった。	
(3)教育委員会と事務局との連携	○教育委員会と事務局との連携	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・教育委員会会議の開催前に事前打合せを行った。
(4)教育委員会と首長の連携	○教育委員会と首長との意見交換会の実施	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・令和元年度は1回開催した。
(5)教育委員の自己研鑽	○研修会への参加状況	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・研修会、講演会に参加した。 ※P9、会議・研修会参照
(6)学校及び教育施設に対する支援・条件整備	①学校訪問	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・市内すべての市立小中学校、幼稚園への教育委員会訪問を実施し、各学校、幼稚園等の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。
②所管施設の訪問	実現度 ↑ <table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> →重要度										・所管する施設の施設訪問を実施し、施設の概要の把握、フリートーク方式による意見交換を行った。 (菊川文庫、体育協会)	

シート 2		(大項目)	教育委員会が管理・執行する事務
中項目	小項目	点検・評価	
(1)教育行政の運営に関する基本方針を定めること	実現度↑  →重要度	・「平成31年度 菊川市教育の方針」を策定し、教育委員及び学校長並びに幹部管理職へ説明した。	
(2)教育委員会規則及び規程を制定し、又は改廃すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度には16件の規則、要綱等の制定及び一部改正を行った。	
(3)教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	実現度↑  →重要度	・当初予算案及び定期監査結果を議案上程した。 ・補正予算については要求概要の説明を行った。	
(4)教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度は菊川市学舎運営協議会設置に関する1件の議案があった。	
(5)教育委員会事務局及び教育機関の職員の任免その他の人事に関すること(県費負担教職員の任免を除く)	実現度↑  →重要度	・令和元年度事務局及び教育機関の職員の人事異動についてを議案上程した。	
(6)県費負担に係る校長の任免その他の人事の内申に関すること	実現度↑  →重要度	・令和2年度学校長の人事異動案について審議し内申を行った	
(7)県費負担に係る教職員の人事の内申に関すること	実現度↑  →重要度	・令和2年度教職員等の人事異動案について審議し内申を行った。	
(8)教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関すること	実現度↑  →重要度	・教育委員会が任命・委嘱する人事案件はすべて上程し、審議をした。	
(9)教科用図書の採択の決定に関すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度は議案1件(小中学校教科書)を上程した。	
(10)通学区域を設定し、又は変更すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度は議案はなかった。	
(11)文化財を指定し、又は指定を解除すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度は議案はなかった。	
(12)請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関すること	実現度↑  →重要度	・令和元年度中に教育委員会に対する要望や異議申し立てはなかった。	

# シート 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

各点検評価シートの実績評価 A=十分な成果があり、施策の目的が達成された。  
 B=一定の成果があり、施策の目的が概ね達成された。  
 C=十分な成果が得られず、改善が必要である。

担当課名	番号	施策 (大分類)	ページ	
こども政策課	①	幼児教育・保育の質の向上	14	
	②	地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	14	
学校教育課	①	中学校区等を核とした学びの環境づくり	16	
	②	ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり	16	
	③	思いやりに満ちた学校づくり	16	
	④	「一人ひとりが生きる教育」の推進	18	
	⑤	こころざしを持った頼もしい教職員の育成	18	
教育総務課	⑥	学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	20	
	⑦	安全で安心して教育が受けられる環境づくり	20	
給食センター (教育総務課)	⑧	安全でおいしい給食の安定的な提供	20	
社会教育課	①	社会教育	地域で子どもを守り育てる	22
	②		家庭の教育力向上	22
	③	生涯学習	生涯学習活動の推進	24
	④	社会教育	鑑賞機会の提供	24
	⑤		市民の文化・芸術活動への支援	24
	⑥	文化振興	文化財の保存・周知・活用	26
	⑦	スポーツ振興	誰もがスポーツに触れあう機会の創出	28
	⑧		スポーツ団体・スポーツ活動への支援	28
	⑨		スポーツ活動の場の提供	28
図書館	⑩	子どもの読書活動推進	32	
	⑪	読書機会の提供・読書活動の啓発	32	
	⑫	読書環境の整備	32	

# 施策体系と評価

担当課

こども政策課

基本目標

「豊かなこころを育むまち」

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 幼児教育・保育の質の向上	(1) 子どもの発達や特性を踏まえた計画的な教育の推進と体験を通して興味・関心・意欲をふくらめる教育の推進	家庭と地域と連携して、乳幼児期の教育の目標を達成するために必要な様々な体験が豊富に得られるような環境を構成し、乳幼児期にふさわしい生活が営めるように努める。	ア 新指導計画の更新 イ 各種研修会・研究会の開催 ウ 各種園行事の充実
	(2) 保護者との連携	親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供する。	ア 家庭教育学級 イ 保護者の保育参加の推進 ウ PTA活動、保護者会活動
	(3) 親子のふれあいを通した心の醸成	親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め子どもの心の安定を図り、自己肯定感をもてるようにするとともに、絵本の楽しさを深める。	ア 親子行事の開催 イ 読み聞かせ活動の推進 ウ 図書館との連携

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② 地域社会・幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携	(1) 地域社会・関係機関と連携した幼児教育の推進	地域の行事に園児が参加したり、防災の連携をしたりして地域との関わりを大切にす。	ア 園行事への招待と地域行事への参加 イ 老人クラブとのふれあい活動の推進 ウ 降園後のパトロール指導
	(2) 幼稚園・保育園・認定こども園との連携	公立園・私立幼稚園・民間保育所・認定こども園が幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図る。	ア 菊川市幼児施設連絡会 イ 乳幼児保健会への出席 ウ 幼稚園と保育所等との公開保育・保育研究
	(3) 小中学校との交流の推進	生涯の人間形成の基となる幼児期の教育の重要性を多くの人に理解してもらうため、子どもの育ちを幼稚園・保育園互いに横の連携を取りながら、小学校、中学校へとつなげる。	ア 保・幼・小連絡会の開催 イ 小・中との授業研究会への参加 ウ 小学校との行事交流



基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	1 「生きる力の基を育む園」づくり【幼児教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
各種研修会・研究会により職員の保育力を向上し、園の運営や経営の充実が図られた。また、園行事・交流会をとおして親子関係や友達関係を深めることができた。	A	子どもが多様化している中、一人一人に応じた保育を展開していくために、環境・援助のあり方を話し合い、職員の保育力を向上していく。

親子のふれあい活動を取り入れて、子育ての楽しさを感じたり、保護者同士が悩みを話し合ったり、子育ての情報を提供したりして、子育てやしつけについて学ぶ場を提供することができた。	A	核家族化、少子化、価値観の多様化などにより環境が大きく変化している。保護者自身も一人で悩みや不安を抱えながら子育てをしているため、引き続き情報収集できる場の提供を行い、家庭や地域と連携をとっていく。
--	---	---

親子でふれあいながら活動することにより、絆を深め、子どもの心の安定や心の醸成を図ることができた。	A	保護者自身も人との関わりが希薄になりがちのため、引き続き親子のふれあいの場を提供するための行事をおこなっていき、親子のかかわりの大切さや子育ての楽しさを伝えていく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
地域の方が園行事に参加したり、園児が地域の行事に参加することにより、園や園児のことを知ってもらうことができた。また、降園後のパトロールにより園児の安全を確保することができた。	A	引き続き地域の方が園行事に参加できるように計画していく。また、保護者と協力しながら園児の安全を確保していく。

私立園・民間保育所と幼児施設連絡会での研修会や園長会により互いの理解を図るとともに、研修により職員の資質向上を図ることができた。	A	私立園・民間保育所と連携を密にし、今後の幼児教育の在り方を検討していく。
--	---	--------------------------------------

小学校、中学校と交流を行うことにより、入学前の子どもの引継ぎや、園から小学校への接続が円滑にできた。	A	引き続き小学校との連携を図り、園から小学校、中学校へとつなげる。
--	---	----------------------------------

# 施策体系と評価

担当課	学校教育課
-----	-------

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 中学校区等を核とした学びの環境づくり	(1) 小中一貫教育の推進 (モデル地区:岳洋中学校区)	小・中学校の「たての接続」と学校・地域社会の「よこの連携」、「地域の財を生かした教育」を基本理念とした「学びの庭」構想を推進する。	1 地域・学校間の連携強化 2 学舎運営協議会の設置・開催 3 モデル地区1年目の成果報告
	(2) 豊かな学びを支える環境づくりの推進	文化的体験や、菊川市の地域の力を生かし、心身共に健全な児童・生徒を育成する。	1 市主催行事の開催 2 環境教育、食育の推進 3 ふるさと志向力を育むキャリア教育の推進

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② ICT環境を生かした魅力ある授業づくりの推進	(1) 「きくがわ21世紀型授業」の推進	一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある授業「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。情報教育器機の効果的な活用について研究を進め、楽しく、分かる授業を目指す。また、全国学力の分析をもとに、求められている学力や菊川市の子ども達の課題を明確にして授業改善に取り組む。	ア 学校訪問による授業改善支援 イ ICT活用実践研究指定 ウ 各種研修会の開催 エ 全国学力学習状況調査の分析、学力向上対策委員会
	(2) 英語力の向上	小中学校における外国語によるコミュニケーション能力向上と、教員の指導力向上を図る。また、授業以外でも、小学校段階から英語に触れる機会を増やし、菊川を訪れる人に英語でおもてなしできる人材を育成する。	ア 英語指導助手、英語支援講師の配置 イ 外国語活動教員研修の開催 ウ 土曜日を活用した小中学生英語講座の実施
	(3) 情報教育の推進	情報教育機器を効果的に活用し、一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。	ア 校務のIT化の推進 イ 菊川市情報教育モデルカリキュラムの活用 ウ 情報推進委員会の開催

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
③ 思いやりに満ちた学校づくり	(1) 魅力ある学校づくり調査研究事業	思いやりに満ちた学校づくりを進めるために、人権教育や福祉教育の実践を進め、いじめのない学校経営を推進する。	ア 学校いじめ防止基本方針に沿った対応 イ 不登校児童・生徒の防止対策の推進 ウ 人権教育、福祉教育の実践

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	2「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
事業実績のとおり、「学びの庭」構想モデル地区1年目として、各種の取組を始動させるとともに、地域への認知度を高めていくための土台を形成することができた。令和2年度は、新たな企画や取組をより学校主体で進めることとし、これをサポートするための地域学校協働活動推進員の配置を行う。	A	岳洋学舎運営協議会の運営をより活性化するとともに、令和3年度からの本実施に向け、菊川地域の2つの学舎運営協議会の効果的な設置及び委員選任に努める。地域との連携については、可能な限り学校が主体的に動くことが望ましいが、その分負担も高まる。新たに配置する地域学校協働活動推進員がどれだけ効果的に学校・地域間の連絡調整・橋渡し役を担うことができるかが大きなポイントである。

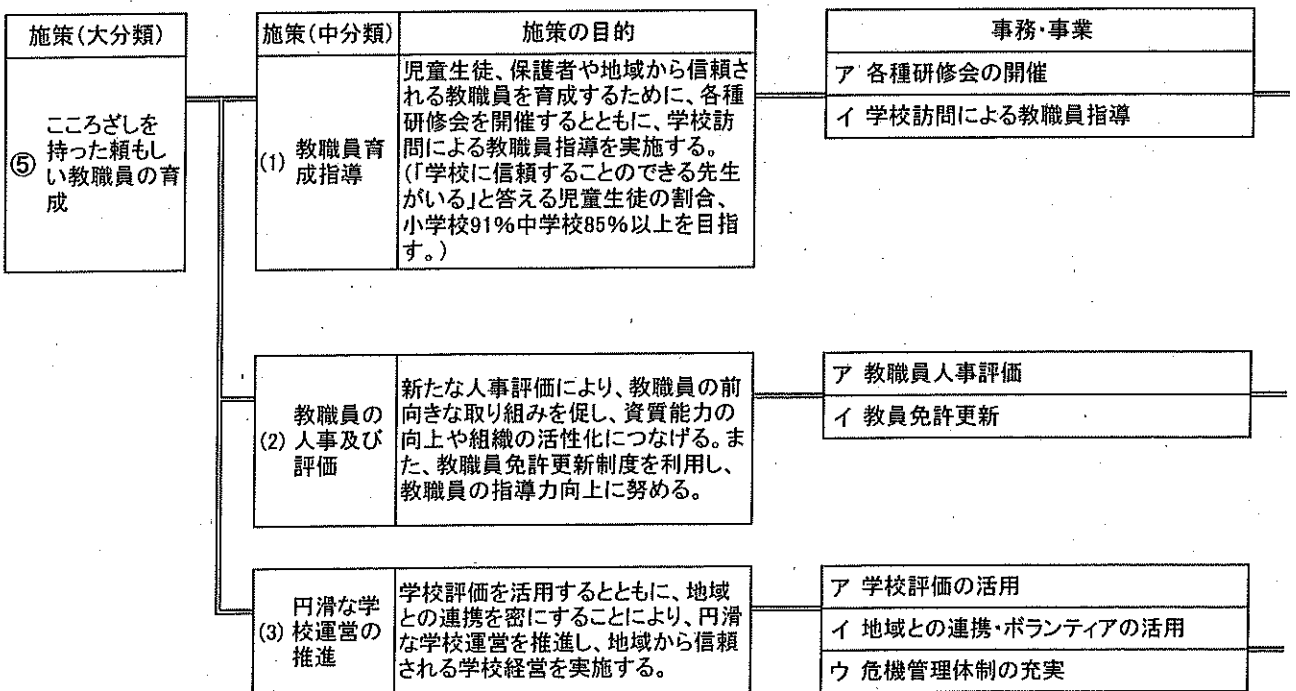
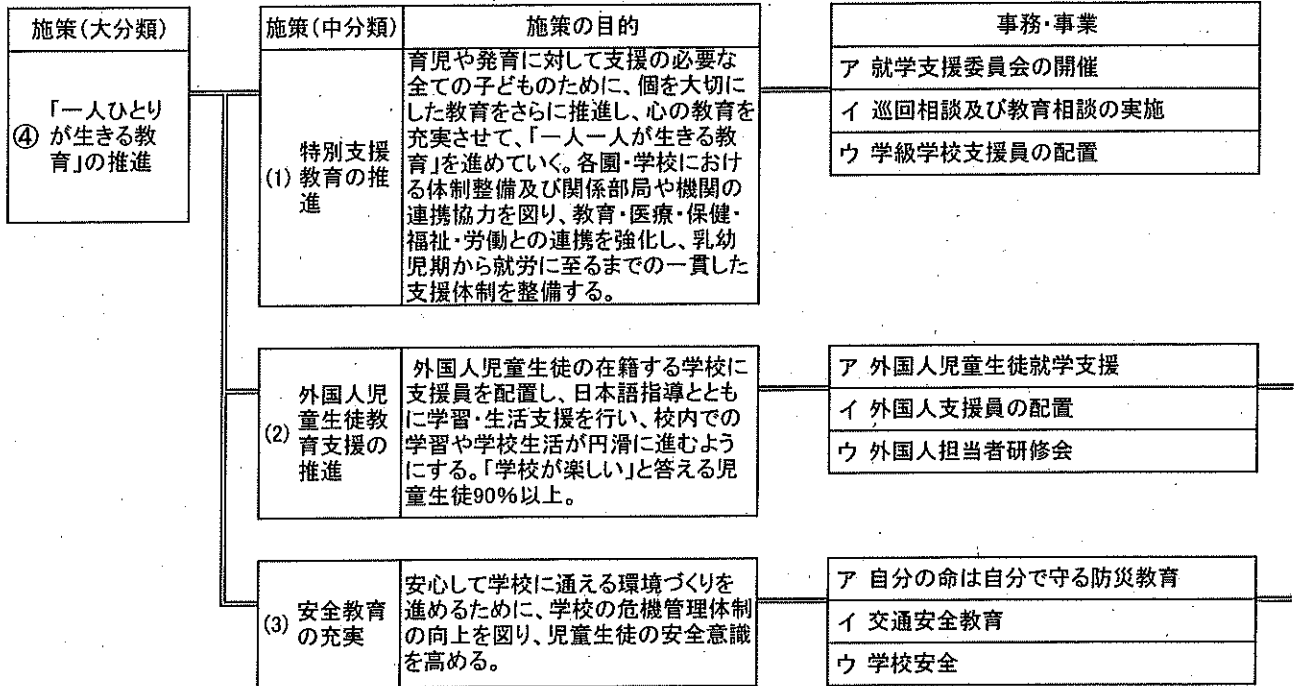
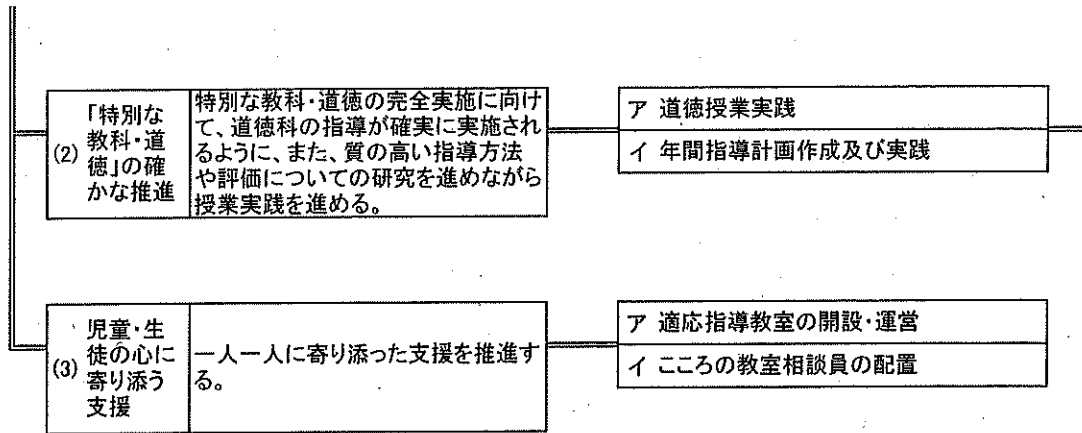
行事や研修を計画的に行うことができ、児童生徒をとりまく環境を整備することができた。様々な体験活動を通し、豊かな感性を培うとともに、自分の住む地域についても考えることができた。	A	企業説明会や職場体験がさらに充実するよう、地域の企業・団体との協力を深めていく。
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
「授業が分かる」と答える児童生徒の割合は、小学校91.6%・中学校86.7%であり、授業でICTを活用して指導できると答える教員は、県平均を大きく上回り、情報機器の活用が進んでいる。 上記のような数値結果は、学校訪問による指導及び研修会の成果といえる。	A	平成30年・31年度と市内の小中学校で研修指定発表を行った。これらの研究や取組を参考にし、来年度は学舎で授業改善を進めていく必要がある。

ALTや英語支援講師と研修を通じての話し合いにより、授業でのよりよい支援につなげることができた。また、土曜英語では、小学生の英検5級の合格者は85.7%となった。講座の振り返りを行うことで、講座の内容や指導方法を改善することができた。	A	令和2年には小学校での英語が完全実施になる。スムーズに完全実施へつなげられるよう、英語支援講師の活用方法や時間数等検討していく。
---	---	--

情報教育モデルカリキュラム、ICT活用例等を参考にして、情報教育機器を授業で積極的に活用することができた。また、各校ICT推進委員が中心となって、タブレット型端末を活用した効果的な授業の在り方についての研修を深めることができた。	A	子供たちが情報活用能力を身に付ける。情報教育機器を効果的に活用し、一人一人に「確かな学力」をつけるため、主体的・対話的で深い学びのある「きくがわ21世紀型授業」づくりを推進する。
--	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
魅力ある学校づくり調査研究事業に取り組むことで、不登校対策においては未然防止と初期対応が重要であることを市内全教職員で再確認できた。モデル校区(岳洋中学校区)の顕著な成果としては、児童生徒意識調査の数値は、調査回数を重ねるごとに増加傾向にあった。	A	増加傾向にある不登校、発達に関する問題等、さらにきめ細やかに子供一人ひとりに寄り添い、個に応じた指導や支援、組織的な対応を必要とする事案が増えている。



<p>教科である道徳への理解が深まった。道徳的価値に迫るために、道徳教育の計画を見直したり、さらに実践を積み重ねたりして、研修を深める必要がある。</p>	A	カリキュラムマネジメントシートを活用し、効果的な実践を積み重ねる。
---	---	-----------------------------------

<p>適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒9人のうち、3人を学校復帰につなげることができた。また、教育相談により児童・生徒・保護者にとって、「心がほっとする、心の居場所」となった。</p>	A	適応指導教室相談員と学校(心の教室相談員)との連携体制を強化し、さらにきめ細やかな指導・支援につなげる。
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
<p>すべての小中学校に学級学校支援員を配置し、各校のニーズに応じた支援を行った。適切な就学支援を行うために、学校・園訪問等をして園児児童生徒の状況を把握し、保護者に情報提供したり相談に応じたりした。また、園児については保護者・園担任等との支援学級見学に同行し、情報共有に努めた。</p>	A	保護者や園との早期からの連携や情報共有に努め、特別支援教育に対する理解をこれまで以上に進めた上で就学支援に取り組む必要がある。

<p>外国人担当者の研修会を予定通り実施し、担当者の資質向上が図られた。 支援が必要な外国籍児童生徒に対し、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られた。「学校が楽しい」と答えた児童88%。生徒89%。</p>	A	日本語指導が支援が必要な外国籍児童生徒に対し、引き続き支援を行う。フィリピン国籍児童生徒の増加傾向や外国籍児童生徒が急増している学校があるので、配置の見直し等、今後も実態に即した対応を進める。
--	---	--

<p>学校の危機管理体制の整備として、全校で避難訓練及び情報伝達訓練の実施した。また、児童生徒の安全意識の向上のための交通安全教室や街頭指導、防犯教室を実施し安心して学校に通える環境づくりを進めた。通学路安全対策検討委員会を開催し教育委員会と警察、道路管理者等で市内全体の安全対策を検討し対策を実施した。</p>	A	学校で実施している避難訓練が、より実践的なものになるよう引き続き工夫していく。各校の学校地震等対策マニュアルを随時見直し、より有効なものに整備していく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
<p>各種研修会の実施や学校訪問指導により、教職員の資質を高めるとともに、信頼される学校づくりができた。「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合は、小学校91.6%(目標比+0.6%)、中学校87.8%(目標比+2.8%)であり、小中学校ともに、目標値を上回ることができた。</p>	A	各研修会について、それぞれの職に応じ、教師としての力量を高めることができるようさらに内容を工夫して行う。

<p>教職員人事評価に対し、全校で前向きな評価が実施された。また、教職員免許更新についても、対象である第1グループ43人の更新がすべて終了した。これらの事業により、教職員の資質能力を向上させることができた。</p>	A	教職員免許更新については、新免許状所有者と旧免許状保有者の2回目の更新が行われる。計画的な更新ができるよう働きかけていく。
---	---	---

<p>円滑な学校運営推進のために、教職員育成指導や人事評価等を確実に実施した。その結果、「学校に信頼することのできる先生がいる」と答える児童生徒の割合が、小中学校合わせて90.4%となった。</p>	A	学校評価について、市共通項目の見直しを行い、各学校ごとの目標から各学舎ごとの目標を設定するよう連携を進める。
---	---	--

# 施策の体系

担当課 教育総務課

基本目標 「豊かなこころを育むまち」

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑥ 学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化	(1) 学校施設の適正な維持管理	小・中学校の教育活動が、支障なく行われるよう学校教育環境の計画的な整備を実施する。また、学校環境を良好な状態に保つため、施設や設備の適切な維持管理を実施する。	ア 学校施設の維持管理 イ 学校設備の維持管理 ウ 県費補助・市単独事業の実施
	(2) 学校施設整備	年々児童数が増加し普通教室数が不足しているため、新校舎を増築し良好な学習環境を確保する。	ア 加茂小学校南校舎増築
	(3) 学校施設の長寿命化	学校施設の長寿命化を実施していくため、学校施設の施設整備計画を作成する。	ア 施設整備計画の作成

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑦ 安全で安心して教育が受けられる環境づくり	(1) 教室環境の整備	児童生徒が健やかに伸びていく学校環境の充実に向け、教育課程に基いた授業等に必要の教材・教具等を効率的に購入する。	ア 校用備品の整備 イ 教育用情報端末の整備 ウ 特別教室への空調機器設置の検討
	(2) 家庭への支援	学校教育の機会均等の精神に基き、経済的理由等により就学が困難な家庭に対し必要な援助を図る。	ア 就学支援事業の実施 イ 特別支援教育就学奨励事業の実施

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑧ 安全でおいしい給食を安定的に提供	(1) 安心・安全なおいしい給食作りの実施	学校給食における衛生管理体制を徹底し、児童生徒に安心安全なおいしい給食を提供する。	ア 給食献立作り及び使用食材の発注 イ 食物アレルギーへの対応 ウ 調理業務等の民間委託による安定的調理業務の実施
	(2) 食育及び地産地消の推進	学校給食を通じて成長期にある児童生徒が、望ましい食生活の形成や好ましい人間関係の育成が図られることを目的に、食育推進事業を進めていく。また、安心安全で新鮮な食材となる地場産品の給食への使用拡大を図り、食育推進に繋げていく。	ア 栄養士による食育指導の実施 イ ふるさと給食週間等の実施による地産地消の推進 ウ 地産地消推進会議の開催
	(3) 安定的給食業務の実施	安心安全な学校給食作りを推進するために、安定的給食業務(給食食数の管理、給食会計、施設の維持管理等)の実施を図る。	ア 給食食数管理及び給食会計処理の実施 イ 給食センター施設の維持管理の実施 ウ 給食関係会議の開催

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	2「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり【学校教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
計画的かつ効率的な発注を実施、児童・生徒の安全を最優先に事業実施できた。また、県費補助を活用し経年劣化したガラス飛散防止フィルムの張替えを実施し、施設・設備の健全が図られた。	A	施設・設備の老朽化が全般的に進んでいる。高額な修繕対応する件数が多くなってきており、予防的修繕を検討し経費の縮減を図っていく必要がある。
加茂小学校南校舎増築を実施したことにより教育環境が向上した。	A	市内小中学校の校舎は、耐震力のやや劣る校舎が確認されているため、引き続き耐震補強事業を実施し耐震力の向上に取り組む必要がある。
学校施設における優先度の確認と、事業費の概算額が算出されたことにより、今後の長寿命化計画の方向性を確認することができた。	A	市内の小中学校の施設は、経年劣化による老朽が著しいほか和洋式トイレに未改修などの施設が数多いため、引き続き大規模改修に取り組んでいく必要がある。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
特別教室への空調機器設置については、利用率の高い特別教室への設置を検討するよう指摘があった。令和6年までは、設置に関しては耐震補強・大規模改造工事に併せ設置していくよう今後調整をしていく予定である。	A	GIGAスクールや今後の授業内容、授業形態の変化への対応が求められる。また、サーバー等のPC周辺機器における有り方を検討する必要があると考える。
就学援助費については、平成30年度の実績と比較し、国基準額の増額により支給額158千円増、支給対象者は1名の減となった。就学奨励費については、平成30年度の実績と比較し、支給額では282千円増、支給対象者は10名増となった。また、今年度から入学予定者に対し就学援助費の入学前支給を実施したことにより、保護者の負担軽減がより一層図られた。	A	就学援助費及び就学奨励費については増額支給となったが、今後も子どもの家庭状況や保護者の就労状況に左右されると考えられるため、適正な支給基準について検討していく必要がある。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
安心安全な給食を提供するため、衛生面に十分配慮した管理を行うことができた。また、センター独自の衛生講習会を開催し、職員全体の衛生管理意識の向上に役立てることができた。また、献立会議や調理打合せ会を実施し、新たなメニューの考案・提供等にも努め、残食率3%を切ることができた。	A	引き続き安心安全な給食を提供するため、委託先との密接な連携のもと、安全な物資の調達、衛生管理の徹底を図り、職員全員が同じ意識を持ち進めていく。また、児童生徒が栄養バランスの正しい知識を身に付けられるよう、全学校への訪問による食育の推進を図りながら、おいしい給食づくりに努めていく。
「食に関する指導全体計画」を基本として、学校教育課や小中学校等と連携を取り合いながら、栄養士による食育指導を進めることができた。また、「ふるさと給食週間」等においては、引き続き市内産トマトをピューレとして、ミートソースやシチューなどで使用し地産地消推進の拡大に繋げることができた。また、地産産物のキャベツとチンゲン菜は、年間を通じて給食で使用することができた。さらに、生産者等と児童が交流する事業を開催し、地産地消の推進と合わせて食に関する指導の充実も図ることができた。	B	今後も地産地消推進会議を開催し、給食への地場産品使用拡大について意見交換を行う。また、市内農産物を活用した新たなメニューや食材の製品化を検討し、地産地消の推進に役立てていくことも必要である。
安定した給食業務を実施するため、各小中学校と連携を取りながら給食事務・給食会計処理等を進め、現年度の徴収率については、前年度99.97%であったが、本年度は99.95%となった。また、厨房施設の維持管理を適切に実施し、事故やトラブルなく給食作りを行うことができたが、年度末には新型コロナウイルスが発生し3/3(火)～3/17(火)まで給食を小中学校で停止となった。さらに、給食運営に必要な会議を計画どおり開催し、給食だより等についても計画どおり発送することができた。	A	給食費完全納付に向けて、給食センターと学校等との連携をさらに強化し、家庭環境などの情報を共有化して、未納対策に取り組む必要がある。

# 施策体系と評価

担当課

社会教育課（社会教育）

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
① 地域で子どもを守り育てる取り組み	(1) 住民主導による子どもを育む組織づくり	青少年の健全育成や非行等の問題行動防止に向け、支部の青少年健全育成会活動を通じて、家庭、学校、地域住民など、地域社会と行政(関係機関)がそれぞれの役割と責任を担いつつ相互に協力し、「地域の青少年は地域で安全に守り育てる」を柱とした健全育成事業を推進する。	ア 青少年健全育成市民会議支部活動の推進 イ 街頭生活指導の実施
	(2) 豊かな人権感覚を育む教育・啓発の推進	人権問題を市民一人ひとりが正しく理解するために、家庭・学校・地域社会が連携を深め、明るい人づくり、地域づくりの推進を図る。	ア 親子映画教室の開催 イ 人権週間行事
	(3) 豊かな感性と社会性を育むボランティア活動の推進	児童・生徒にボランティア活動や社会参加活動への参加を促し、広く社会で活動することを通し社会性や思いやりの心を育て、健やかな青少年の育成を支援する。	ア ボランティア体験活動の推進 イ ボランティア活動支援センターの設置 ウ 活動級別認定の実施及び表彰 エ 活動リーフレットの作成 オ ボランティア担当者会の実施 カ ボランティア講座の実施
	(4) 豊かな感性と社会性を育む体験活動の推進	次世代を担う子どもたちが、豊かな人間性とたくましさを備えるため、文化的・科学的な興味や関心を掘り起こし、体験や規律ある集団生活を通して人格形成を成すよう事業を推進する。	ア 安全安心ひとづくり市民大会の共同開催 イ 成人式の開催 ウ どきどきフェスティバルの開催 エ 小谷村スキー体験教室の開催
	(5) リーダー育成・交流事業の推進	次世代を担う青少年の健全育成、交流及び文化振興を図るため、地域の青少年活動や国、県の主催する事業への参加を通して、コミュニケーションを図り、明るく平和で住みよい郷土作りを目指す。	ア 青少年関係団体の支援 イ 通学合宿推進事業の支援

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
② 家庭の教育力向上	(1) 放課後子どもプランの推進	放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得て、児童とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、児童が地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。 また、類似事業である放課後児童クラブとの連携を図り、総合的なあり方の検討を行い、よりよい環境づくりを推進する。	ア 放課後子ども教室の実施 イ 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの連携
	(2) 家庭教育の推進	保護者が「子育て」や「しつけ」について学び、保護者同士が悩みを話し合い、子どもの健全な身体と人格の発達を助長するために家庭教育のあり方を学ぶ。	ア 家庭教育学級の開設委託 イ 家庭教育支援員の派遣・推薦 ウ 菊川市子ども会連合会の育成支援
	(3) 地域と学校の連携	地域本部事業は、地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進することにより、教員及び地域の大人が子どもと向き合う時間の増加、住民等の学習成果を子育てに活かす場の拡充及び地域の教育力の活性化を図る。	ア 学校支援地域本部の設置 イ 小・中学校との連携 ウ 中学生ふるさと未来塾の実施



基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
青少年健全育成市民会議常任委員会の開催、7月の駅前キャンペーンや夏季・冬季の街頭生活指導を実施した。また西部ブロック管内や県内の市町補導センターとの連絡協議会に出席し、他市の状況や対策を確認した。また、青少年健全育成支部長会を年3回実施し、各地区の活動報告や意見交換を行い、活動内容等をワンプーパーにとりまとめ会議資料として配布した。	A	青少年健全育成のためには、家庭、学校、地域、警察等の関連機関との連携を図ることが必要であり、引き続き街頭指導や声掛け運動、青少年健全育成会支部活動等とおして青少年健全育成事業を推進していく。健全育成組織について、各地区での担い手が不足しているという声が上がっており、各地区の実情を把握するよう努める。
親子で良質な映画を観賞することにより、子どもたちに思いやりの心の大切さを感じてもらうとともに、親子の間に共通の話題を提供でき、対話を深めることができた。	A	人権教育は庁内各課(市民課、福祉課)等と協力連携し、今後も啓発に努める。
今年度より、公立3中学校の生徒全員に情報提供を行うこととした。小学生・高校生については引き続き、情報提供を希望する者のみに案内を行った。その結果、意欲がある者がより積極的に参加する傾向となった。また、令和2年3月は新型コロナウイルス感染予防のため活動を休止したことが、参加者数や活動回数の減に影響したと考える。	B	小中高校側と受入施設側との連絡調整の方法を検討し、ボランティア参加者の増加に向けた広報を行う。また、社会福祉協議会や長寿介護課、市民協働センター等様々な部署でボランティア事業を実施しており、住み分けや協働に向けた打ち合わせを実施していく。
地域支援課と社会教育課との共同による「菊川市安全安心ひとづくり市民大会」において、青少年健全育成に尽くした団体の表彰及び菊川市ボランティア級認定者の表彰を行うとともにテレビ寺子屋公開録画により教育に関する講演を実施し、地域と一体となった青少年健全育成活動に取り組んだ。	A	・成人式では、滞りなく式が挙行できるように引き続き万全な管理体制を検討していく。 ・安全安心ひとづくり市民大会は、安定した集客となるよう参加方法を再検討していくほか、魅力ある講師の招聘をテレビ静岡に要望していく。 ・小谷村スキー体験教室では、2年連続で雪不足により中止となった。次年度以降の開催時期については、小谷村と調整を図る。
青少年活動団体への支援、通学合宿事業への支援などの事業をおして、さまざまな体験や交流、情報交換を行ない、次世代を担う青少年の育成の推進が図られた。	A	通学合宿事業は、異年齢集団で共同生活をし、その中でさまざまな体験活動を行う事業であり、今後も引き続き地域の教育力の向上、子育て支援の充実を図る。
市内9校で子ども教室を継続的に実施することができた。国が平成30年に策定した「新・放課後総合子どもプラン」に基づき、「菊川市子ども・子育て支援事業計画(第2次計画)」について、こども政策課とともに計画の見直しを行った。	A	一部の教室ではコーディネーターやスタッフの高齢化が進んでいる。定年年齢が引き上げられ、高齢者が現世代並みに働くようになった昨今の世情のなかで、新たな協力者をどのように確保していくかが課題となっている。
家庭教育学級事業については、1,339名の学級生が参加し、家庭教育にかかる意識の向上を図れた。	A	家庭教育支援員の活動回数が少ないことから、令和元年度から各園・校に依頼し巡回計画を立てており、引き続き支援員を活用した講座が広がるよう取り組んでいく。
継続して各学校へのボランティア活用の呼びかけや事業内容を周知し、活動機会の充実を図る。	A	学校支援ボランティアに登録をしていただいた方に1回は活動に参加できるように活動の調整及び学校への周知を行う。中学生ふるさと未来塾は、学習指導要領の改正により学校におけるキャリア教育への取り組みが変わりつつあることから、学校現場の意見を引き続き聴取し調整を図る。

# 施策体系と評価

担当課

社会教育課(生涯学習)

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
③ 生涯学習活動の推進	(1) 生涯学習活動の推進	生涯学習のまちづくりを実現するために、学習の機会を提供し市民の生涯学習を奨励援助する。また、地域での生涯学習活動を推進するため、情報提供を行う。	ア 生涯学習だよりの作成・発行 イ 自主講座団体の登録申請・施設利用受付 ウ 生涯学習推進員研修会の開催
	(2) 各種講座の開催	生活に潤いを与える趣味の講座や、社会問題について視野を広めると共にコミュニケーション能力を高め、豊かな感性と人間性を養うことを目的とします。市内全員を対象とした生涯学習講座を開講し、仲間と共に楽しく学習し、生きがいをもって生活をおくることのできる、学習の場を提供します。	ア ステップアップ講座の開催 イ こどぶき講座の開催

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
④ 鑑賞機会の提供	(1) アエル指定管理者との連携	アエル指定管理者との連携により、民間のノウハウを活用し、更なる文化振興を図る	ア 委託事業の開催 イ 月次、四半期、年度の報告会の開催 ウ 文化会館アエル運営委員会の開催
	(2) アエルの計画的な施設の改修	アエル建設後27年が経過し、随所に経年劣化が著しく、管理運営に支障がきたす恐れがあるため、修繕を実施する。	ア 設備改修計画に基づく工事及び委託業務の実施
	(3) 中央公民館の管理・運営	市民の生涯学習推進のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する事業を行い、もって市民の教養の向上、健康の増進及び情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。	ア 公民館施設の維持管理 イ 公民館運営審議会の開催 ウ 公民館施設の貸出

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑤ 市民の文化・芸術活動への支援	(1) 文化協会との連携	生涯学習として広く芸術文化に親しむために、文化事業を文化協会に委託し開催する。	ア 文化祭、美術展、写生大会、書き初め展の開催委託
	(2) 文芸誌編集・刊行	文化向上と郷土愛の増進を目指し、表現活動の奨励、普及の場として作品を募集し、「文芸誌」を編集することを目的とする。	ア 文苑きくがわ編集委員会の開催 イ 文芸誌「文苑きくがわ」の編集・刊行

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
「生涯学習だより」の紙面に講座写真を掲載するなど、内容がわかりやすいレイアウトとした。また、市内施設等へ配布し、周知の機会が多く得られた。	A	引き続き、わかりやすい紙面作りを心がけ、さらなる周知の機会を検討する。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習だよりに講座写真を掲載するなど、わかりやすいものとした。郵便局や市内企業等へ配布し、ステップアップ講座やことぶき講座の情報提供を行い周知に努めた。</li> <li>・各講座とも出席率が高く、一生続く趣味作りや参加者同士の交流を深め、生活に潤いと教養を高める生涯学習の機会を提供することができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度分のステップアップ講座の募集は、チラシ配布から応募締め切りまでの期間を10日程度伸ばすことで応募数が増加した。</li> <li>・各種講座選定の参考とするため受講生アンケートを実施し、数年単位で講座を入れ替えるように図っている。併せて参加者が定着している講座については、講師や受講生に自主講座の立上げを促しているが、自主講座の開設までは至っていない。</li> <li>・市民開放施設ではないけやき調理室、夜間の市民利用率が高い地区センターについては、今後自主講座への発展が難しいことから、令和2年度から会場を中央公民館とけやきに集約することで、自ら意欲的に学習に取り組む集団の育成につなげたい。</li> </ul>
---	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
指定管理者と定期的に報告会を開催し意見交換や連携に努めた。その結果、新企画、意欲的な企画を行うことができ、多世代に幅広くイベントを体感していただいた。	A	施設や立地等の資源を活用し、予算内で最大限の成果が発揮できるよう情報発信等に努め、指定管理者と協働で事業に取り組んでいくことが必要である。また、指定管理者と連携し入場者数の向上を目指すとともに、他団体との共同開催等に努めていく。

予定どおりの改修、更新、修繕が実施できた。また指定管理者と緊密に連絡を取り、施設の安全管理に努めることができた。また、危機管理課を通じて県に照会したところ、大ホール壁面改修工事については県の地震津波対策の対象にすることとなった。	A	建設後27年が経過し、随所に劣化が見受けられる。引き続き改修工事を実施するための実施設計や、工事工程に合せ使用制限の調整、一般財源以外の財源確保の検討を計画的に進めていく。
--	---	--

保守点検や清掃業務委託などを実施し、良好な状態を保つことができた。また、緊急を有する修繕に対応できた。	A	利用者に安全で気持ち良く利用できるよう努めた。引き続き、館内設備の点検を行い、必要に応じて修繕計画の検討を進めていく。
---	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
文化協会へ事業委託し芸術文化事業の振興を図るとともに、文化協会を支援し、市民文化・芸術活動の推進を図ることができた。	A	美術展について、常葉美術館の閉館に伴い代替施設を検討したが、適当な施設がないことから令和2年度から廃止とした。今後も文化協会加盟団体と連携し、各委託事業を円滑に実施する。

投稿された作品を、文芸誌として発刊することにより、投稿者の作品作成意欲の増進を促すことができた。今号も各分野の作品を収めることができ、特に随筆作品への投稿が増えた。	A	文芸誌の広報を継続していく。編集委員の高齢化により編集作業が困難になっていること、投稿者が減少していることから、今後の事業実施について、検討を要している。
--	---	---

# 施策体系と評価

担当課

社会教育課(社会教育・文化振興)

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑥ 文化財の保存・周知・活用の推進	(1) 文化財の保護	市内にある指定文化財の維持管理を行うことにより、郷土の貴重な文化財を保護活用していく。	ア 文化財保護審議会の開催 イ 国指定文化財等の維持管理及び整備 ウ 文化財防火訓練の実施
	(2) 文化・顕彰活動支援	菊川市に残る地域の文化財を保護するために、文化財の保護や継承を行っている団体に対して指導・支援を行う。	ア 指定無形民俗文化財の伝承及び活用に対する補助 イ 地域文化財活動団体への支援 ウ 芸術文化大会等への出場者(団体)支援 エ 関口隆吉氏顕彰事業・銅像除幕式及び講演会の開催
	(3) 文化財の活用	発掘調査等により出土した資料の展示や資料館等の収蔵品の展示を行うことにより、文化財の活用を図る。	ア 黒田家代官屋敷資料館の運営 イ 街道画の展示・活用 ウ 埋蔵文化財の展示・活用 エ 埋蔵文化財センターの運営・管理 オ 塩の道公園の管理及び再整備 カ 史跡菊川城館遺跡群整備委員会の開催 キ 史跡菊川城館遺跡群整備構想策定の実施(委託)
	(4) 周知の遺跡の管理	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	周知の埋蔵文化財包蔵地の ア 新規登録、範囲変更及び調査履歴等の更新
	(5) 開発に伴う文化財の保護	市内の周知の遺跡を適切に管理保護することにより、開発などから埋蔵文化財を保護し、次世代に歴史遺産を継承する。	ア 各種開発による試掘・確認調査の実施 イ 発掘調査の実施
	(6) 文化振興計画の推進	菊川市文化振興計画の重点的取り組みである、「情報発信力の向上」「菊川アーカイブづくり」を進め、本市の文化振興を図ります。	ア 文化振興計画の推進及び検証 イ 文化振興計画推進委員会の開催

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
指定文化財の適切な維持管理が図られ、所有者、保存会等の協力により文化財の保護活用を図ることができた。	B	市民に周知するとともに文化財をめぐるウォーキングなどを実施し、普及公開に努める。
文化財保護団体や資料館管理者へ支援することにより、菊川市に伝わる地域の文化財の保護や継承、活用を推進した。また、市制15周年記念事業により、初代静岡県知事の関口隆吉氏の銅像の建立、銅像除幕式及び講演会を挙行し、郷土ゆかりの偉人を広く顕彰することができた。	A	無形民俗文化財の記録保存、公開に対して、保存団体の意向や事業計画を照会し、長期的な計画を策定する。民俗資料(民具)等の收藏品について、各資料館における現状を把握する。また、初代静岡県知事関口隆吉氏の銅像建立を契機に、市民に関口氏について顕彰を醸成していく。
埋蔵文化財の展示・活用については、中央公民館展示室で「弥生時代のつぼ10選」、「菊川市誕生と文化財」、「菊川市の城館」と題して、年間3回の特別展示及び2回のギャラリートークを開催し、市内外からおおよそ200人が訪れ文化財の普及、公開が図れた。また、昨年度に引き続き「どきどきクイズスタンプラリー」、文化財ウィークに合わせ「菊川市の城ベスト3を歩こう」を企画し、史跡や城郭などに触れ合う機会を創出することができた。例年開催しているどきどきフェスティバル、黒田家住宅の梅まつりを通じて、歴史や埋蔵文化財の周知に努めることができた。また、街道画の展示・活用については、菊川文庫の展示室で「伊那街道」の展示を開催した。今年度は菊川市富田出身の画家近藤朔風氏の寄贈絵画を展示し、市内外の方おおよそ300人が訪れ広く周知を図ることができた。	A	埋蔵文化財センターどきどき及び中央公民館の展示室で、引き続き埋蔵文化財の普及活用のため特別展示及びギャラリートーク(展示解説)を行い、文化財の普及活用に努める。また、広報紙「どきどき通信」の発行や「どきどきメール」の発信により、文化財に係る情報提供に努めるとともに旧跡や名所を巡る文化財ウォーキングを検討する。
試掘・確認調査の結果に基づき、市内遺跡の埋蔵文化財包蔵地の調査履歴を更新した。開発に伴う本発掘調査を実施し、記録保存による文化財保護に努めた。	A	開発者への埋蔵文化財包蔵地の周知が不十分である。講習会等を検討し、文化財保護法の届出の提出への理解を求める必要がある。
開発等に伴う、試掘・確認調査を実施するとともに、記録保存として埋蔵文化財発掘調査(高田ヶ原遺跡)を1カ所実施した。本発掘調査の成果を「どきどき通信」に紹介するとともに地元自治会に調査成果を回覧した。文化財年報を刊行し、市内の文化財に係る情報を市内外に発信し広く周知することができた。	A	常葉菊川中・高校の校舎建替に伴う高田ヶ原遺跡の発掘調査を行うとともに過年度に実施した市内遺跡の発掘調査の整理作業を進め、発掘調査報告書の刊行を順次進める。
文化振興計画の後期5か年の平成30年度事業の点検、評価を実施するため、文化振興計画推進委員会を2回開催するとともに平成30年度事業点検表を作成し、定例教育委員会へ報告をした。施策体系図により施策の点検表を作成し、事業を推進することができた。	B	後期事業実施計画に基づき、平成33年度までの文化振興計画を着実に取り組んでいく。

# 施策体系と評価

担当課

社会教育課(スポーツ振興)

基本目標	「豊かなこころを育むまち」
------	---------------

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑦ 誰もがスポーツに触れあう機会の創出	(1) 生涯スポーツの推進	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	ア スポーツ教室の開催 イ スポーツイベントの開催 ウ 体育用備品の貸出及び管理
	市主催スポーツ大会の開催	いつでも、どこでも、だれでも取り組める運動やライフステージに応じたスポーツを推奨し、運動する人を増やし、市民の運動習慣の実施率を高めます。また、レクリエーションスポーツの普及活動を支援し、スポーツを通じた地域づくりを進めます。	ア 陸上競技選手権大会の開催 イ シニアゲートボール大会の開催 ウ 市民健康駅伝競走大会の開催 エ ビーチボール交流会の開催 オ ペタボード交流会の開催

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑧ スポーツ団体・スポーツ活動への支援	(1) スポーツ推進委員の充実	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 定例会の開催 イ 市主催スポーツ大会等の主管・運営 ウ 実技研修会の開催 エ スポーツ推進委員活動の情報発信 オ 各地区のスポーツ活動の推進 カ 委員の資質向上
	(2) スポーツ委員の充実	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 研修会の開催 イ 各地区のスポーツ活動の推進
	(3) 市体育協会の育成強化	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 菊川市体育協会の自立、支援、連携 イ 菊川市体育協会への事業委託
	(4) 各種スポーツ団体等の育成・強化	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 菊川市体育協会の加盟団体の活動支援 イ スポーツ少年団の活動支援 ウ しずおか市町対抗駅伝 エ 全国大会への出場者(団体)支援 オ スポーツ少年団交流大会の開催
	(5) 総合型地域スポーツクラブ「アプロス菊川」の支援	NPO法人菊川市体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、スポーツ事業を開催します。また、体育協会に所属するスポーツ団体やスポーツ少年団などに加え、任意のスポーツ団体など多数のスポーツグループに対する活動支援を行います。	ア 総会、運営委員会への出席 イ クラブ活動への支援、連携

施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑨ スポーツ活動の場の提供	(1) スポーツ施設の整備・管理	スポーツ施設の安全・安心な利用のため、拠点となるスポーツ施設の管理と計画的な改修・整備を進めます。	指定管理者による市体育館、 ア 体育施設を付帯する都市公園等の管理運営 イ 体育施設の適正な維持管理 ウ 利用者の安全第一を考えた施設の計画的な改修、修繕

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
スポーツ教室、イベント開催をとおして参加者の健康づくり、交流の促進を図ることができ健康で豊かな人づくりに寄与することができた。	A	体育協会が主催するスポーツ教室と連携を取り合い、充実したスポーツ教室やイベントの開催につなげていきたい。

ロードコースで行った健康駅伝大会のほかペタボード交流会、ビーチボール交流会等を教育委員会、スポーツ推進委員が主催し開催する中で、スポーツをとおして多世代間の交流に寄与している。	A	各大会において、幅広い年代にニュースポーツの普及を図ることができている。ビーチボールは競技性が低く子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しむことができるため、イベント方法や内容を検討し、より市民が参加できる事業として、計画していく。
--	---	--

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
各大会や事業が盛大に開催された、生涯スポーツの推進的役割を担うスポーツ推進委員と共に大きな役割を果たし、目標を達成することができた。	A	市民に生涯スポーツの推進を図る上で、スポーツ推進委員の役割は非常に高く、今後も委員の資質向上につなげていきたい。

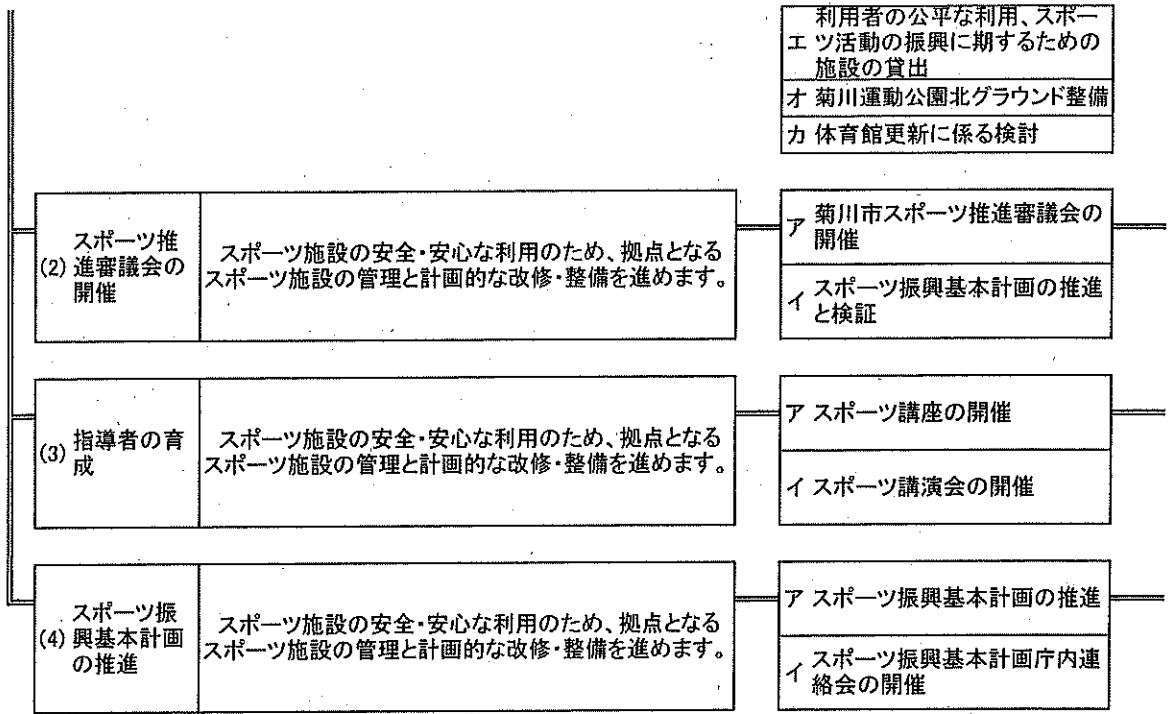
スポーツ委員研修会において、多数のスポーツ委員の参加により盛大に開催された。また地区活動についてもスポーツ推進委員を通じて、多くのスポーツ活動の報告があった。	A	市民に生涯スポーツの推進を図る上で、スポーツ委員としての役割を認識していただくことが重要であり、研修内容の改善や委員としての役割を認識できるよう進める必要がある。
---	---	---

菊川市体育協会への3委託事業については、競技役員ノウハウを生かした円滑な運営により各大会を盛大に開催することができた。また、体育協会の自立・支援については、事務局運営の基盤強化を含め、指導していく。	B	体育協会への委託事業については、これまでのノウハウを活かし、事業が進められている。体育協会の自立・支援については継続的に実施していく必要がある。
---	---	--

スポーツ少年団の母集団研修により、青少年の発達時の育成について、指導者の底上げが行われている。また、全国大会等出場選手を支援(補助金・奨励金の支給)、また表敬訪問など市民に広く周知することで対象選手、他選手の励み、士気の高揚につながり、レベルアップにも寄与している。	A	引き続き、スポーツ少年団の支援を行い、青少年の健全育成につなげていく。また、奨励金制度についても、制度の周知に引き続き取り組み、市のスポーツ競技力の向上につなげていく。
---	---	--

「アプロス菊川」の活動に対し継続的に運営支援を行っている。	B	「アプロス菊川」は体育協会の傘下となり、運営している。今後も、アプロス菊川による企画運営事業に対して、どのように協力できるか検討し、必要に応じて協力をを行い自立支援を行っている。
-------------------------------	---	---

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
市民へのスポーツ機会の提供のため、市内小中学校施設の貸し出し業務(優先予約申請・使用料減免申請・団体登録申請・抽選会・仮予約受付・本申請受付・使用料徴収、還付・鍵の貸出、返却)を実施しているが、業務内容は多岐にわたる。令和2年度から新たに5年間の指定管理の契約を体育協会グループと締結した。	B	体育施設の貸し出し業務は細かな点が多いが、市民サービスの低下を招かないよう、また併せて業務簡略化を図るために、電子申請などシステム導入の検討も必要である。また、小中学校体育館の貸出を問題なく行うことができるよう、引き続き各小中学校と連携を密にし進めていく。また、北グラウンドについては、今後社会教育課で整備を進めていく。





<p>本市スポーツ振興基本計画の進行管理については、庁内連絡会での事業成果や改善・問題点などの検証結果をスポーツ推進審議会へ報告し、意見・ご指摘を反映することができた。</p>	<p>A</p>	<p>引き続き、庁内連絡会を開催し、進捗状況の確認を行い、検証を行った上、スポーツ推進審議会へ諮っていく。</p>
<p>スポーツ指導者養成のための有意義な講座が開催された。</p>	<p>A</p>	<p>講義の内容の充実や市民への情報提供を行い、多くの指導者等の参加ができるようPR等を行っていく。</p>
<p>スポーツ振興基本計画後期基本計画の初年度であり、各事業の進捗管理表や目標達成等を断続的に協議を行った。</p>	<p>A</p>	<p>今後も、断続的に協議し、当該会議での検証結果をスポーツ推進審議会へ諮り、市のスポーツ振興につなげていく。</p>

# 施策体系と評価

担当課

図書館

基本目標 「豊かなこころを育むまち」

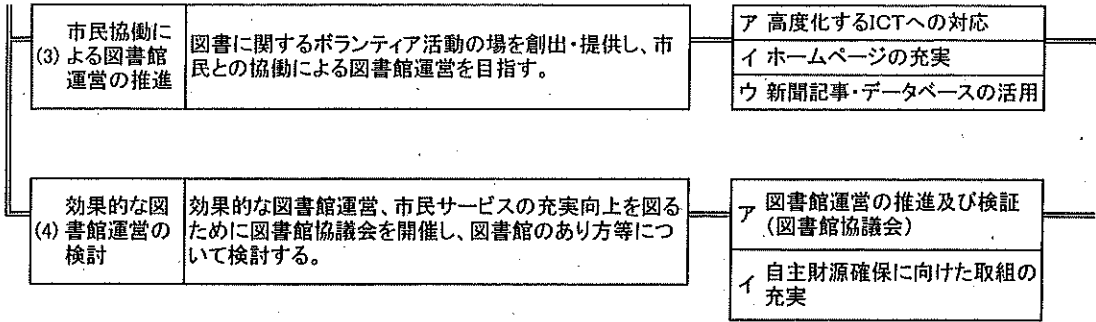
施策(大分類)	施策(中分類)	施策の目的	事務・事業
⑩ 子どもの読書活動の推進	(1) 読書習慣の定着	第三次菊川市子ども読書活動推進計画を推進するとともに、7か月児相談時にブックスタートを実施し、幼少期からの読書習慣の定着を図る。	ア 子ども読書活動推進計画・推進会議等 イ ブックスタート事業
	(2) 学校図書館と公立図書館の連携	子どもの読書活動の継続のために、学校図書館が機能できるよう公立図書館が連携して事業を実施する。	ア 学校司書巡回事業 イ 団体貸出の推進 ウ 子ども司書の養成と活動促進
	(3) 移動図書館の充実	なかよし2号で市内の小学校を定期的に巡回し、子どもたちが読書に親しむ機会を提供する。	ア 移動図書館巡回事業 イ 利用者カードの促進 ウ ブックポスト回収・両館回送業務
	(4) 青少年サービスの充実	青少年ボランティアやインターンシップを受け入れるとともに、中高生向けの資料の充実を図り、青少年の読書の習慣化をめざす。	ア ボランティア・インターンシップの支援 イ YAコーナーの充実
	(5) 子ども向けイベントの充実	子どもたちに図書館や本の世界に親しむきっかけを提供するため、おはなし会などの催事を実施する。	ア こども図書館事業 イ 親子読書の集い(おはなしステーション)事業 ウ おはなし会・映画会等
⑪ 読書機会の提供・読書活動の啓発	(1) 多様な図書館サービスの提供	すべての人が快適に利用できるよう、図書館の資料やサービスを活用して市民のニーズに応える。	ア 図書館資料の充実 イ 地域資料等の収集とデジタル化 ウ 不用図書等の有効活用
	(2) 課題解決や多様な学習活動等の支援	図書館利用者が求める資料や情報を提供するレファレンス・サービス等の充実・高度化に努める。また、生涯学習情報その他の情報提供にも努める。	ア 専門的な研修等への参加促進 イ 職員のスキルアップ強化
	(3) 情報提供の推進	紙媒体とデジタル媒体のハイブリッド図書館として、多様な方法で市民への情報提供を図る。	ア 図書館サポーターの育成・支援 イ 図書館サポーターとの情報交換
⑫ 読書環境の整備	(1) 計画的な資料収集と蔵書管理	多様化する市民ニーズに対応するために、一般書、児童書、参考資料、郷土資料、行政資料、視聴覚資料等の確保・充実に努める。	ア バリアフリーサービス イ 多文化サービス ウ 予約・リクエストサービス エ 協力貸出・相互貸借の推進
	(2) 専門性を備えた職員の育成	図書館サービスを担う職員の資質・能力向上と、専門性の高い職員の育成活用を目指す。	ア レファレンスサービス機能の充実 イ 特設コーナー等の充実 ウ パスファインダーの充実

基本方針	～市民一人ひとりの豊かな個性や創造力を伸ばす～
重点施策	3 市民一人ひとりが心豊かで充実した人生を送ることができる社会の実現【社会教育】

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
関連機関と協議を行い、第三次菊川市子ども読書活動推進計画に基づく事業を推進した。	A	第三次菊川市子ども読書活動推進計画に沿って施策を実行していくにあたり、各施設や各団体との連携・協力を密に行う必要がある。
学校や各種団体と連携や講座の開催を計画どおり進めることができた。	A	学校図書館支援をより充実させるために、学校図書館ボランティア等の人材育成についても検討していく。子ども司書として認定された児童・生徒の活動の場を広げ、読書活動の推進に繋げる。
市立図書館児童書の年間貸出冊数(12歳以下の子ども一人あたり)は新型コロナウイルス感染症拡大等の影響もあり減少傾向となっている。	B	移動図書館なかよし号の利用が大幅に減少している。本の補充や入れ替え、子どもたちが利用しやすくなるような試みをに実施していく必要がある。
ボランティアやインターンシップ等は積極的に受け入れ、図書館を知ってもらう機会を増やした。	A	高校生、大学生の読書はなれは全国的であり、菊川市においても例外ではない。図書館、読書の魅力を知ってもらう手段として、情報発信方法の工夫が必要である。
子ども向けイベントの開催により来館者数の増加に繋がった。3月以降は新型コロナウイルス感染症拡大予防のためおはなし会などが休止となった。	B	新型コロナウイルス感染症による影響を差し引いても、おはなし会やイベントの参加者が減少傾向にあるため、開催時期や周知方法などについて改善策を講じていきたい。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
郷土資料や専門性の高い本を県内外から借り受け、市民のニーズに応えることができた。	A	予約やリクエスト、相互貸借を活用する利用者に偏りがみられる。制度やさまざまな予約方法を周知する必要がある。
多様な講座やテーマ別置等を行うことにより、市民の学習活動の支援を行うことができた。	A	貸出や読書活動の推進につながるような展示を考えていく必要がある。
Wi-Fi接続利用による情報収集の機会提供や、データベースを利用した情報の獲得など市民の様々なニーズに対応できた。	A	図書館での情報獲得の機会の提供やホームページやSNSを活用した情報発信を実施する。

実績評価(施策評価)	評価	今後の取り組み課題又は改善点
適切な蔵書管理により、令和元年度市立図書館サービス指標(県内市立図書館対象)の中で、1,000人あたり蔵書冊数、1,000人あたり受入冊数ともに上位となった。	A	老朽化した資料の買替えや、小学校の教育要領の改正に対応した資料の収集などの蔵書管理が必要である。
職員が各自担当業務や自身の能力を向上させるための研修に参加し、研修内容を他の職員と共有することで図書館運営の改善を図った。	A	菊川文庫、小笠図書館両館のサービスに差が出ないよう、両館の各サービス担当ですり合わせを実施する必要がある。



<p>図書館サポーターの協力により、おはなし会やイベントを充実させることができました。</p>	<p>B</p>	<p>図書館サポーター・ボランティアの人員を増やせるよう、今後も育成・支援等の機会を設ける必要がある。</p>
---	----------	---

<p>図書館協議会ではデジタル化資料の取り扱い要領など図書館活動の推進に繋がる審議を行うことができた。雑誌スポンサーは新年度から新たに10誌が提供される。</p>	<p>A</p>	<p>スポンサー10社以上から提供雑誌30冊以上を達成目標に、本制度拡充のために、企業訪問等での呼掛けをより進めていく。</p>
---	----------	--

## 外部評価

### 教育委員会の活動「シート1」及び管理執行する事務「シート2」に対する外部評価

#### 教育委員会の活動及び運営状況について

・適正な運営がなされていると思います。

#### 教育委員会の活動に対する点検評価結果について

・重要度のC評価が「緊急性は無い」とあるが、表現を変えた方が良いと思います。例えば、「緊急性は低い」や「継続的観察」など。「無い」ということは、一般的に受ける印象として何かあるまで(起こるまで)何も無いというように捉えられてしまう。または、元々C評価に当たるものはないとするなら、C評価を無くして重要度AまたはBのみにすればよいと思います。

#### 教育委員会が管理執行する事務に対する点検評価結果について

・適正な管理執行がなされていると思います。

### こども政策課に対する外部評価

#### ①幼児教育・保育の質の向上

・計画に基づいた適確な運営により、十分な目標達成が成されています。各園の積極的な取り組みが感じられます。園児数や多様化する児の個性、社会状況、職員構成等その年ごとの課題に対応しつつも、保育の基本である一人ひとりに応じたきめ細やかな保育を目指し、そして何よりも児が喜んで登園してくる園づくりを目指し、努力していくことを期待しています。

・子ども達が心身共に健やかに育つために、乳幼児期に親御さんや乳幼児を取り巻く色々な人達から愛されている、かけがえのない大切な存在だと思われることを実感することが基になって育つ自己肯定感を持てるようにすることと乳幼児期の育ちに応じたふさわしい環境・援助を園で確かに保障することが大切だと思います。生涯の人間形成の基礎をつくる大切な乳幼児期に、実態や育ちの方向を確かに捉えた指導計画の作成や研修の実施により保育力を高める努力、また、子育て真っ最中で喜んだり、悩んだり、不安になったりする親御さんの子育てサポートなど、日々の先生方の確かな実践が伺えました。心より感謝申し上げます。

#### ②地域社会・私立幼稚園・保育園・認定こども園・小中学校との連携

・自園に止まらず、各園・校と連携をもったり、研修の場を共有したりすることは刺激となり、職員の資質向上につながります。自園・校の運営がある中、難しさはあるでしょうが、継続していくことで菊川市の教育施設が縦、横でつながり続けていっていただきたい。

・自己肯定感を基に、人と関わる喜びを感じた子どもは、社会に出てからも人と関わりながら生きる喜びを感じながら生活できるのではないかと思います。様々な人と関わる場の提供や子どもの姿を通して育ちや教育を理解していただくとともに、園の教育もサポートしていただき、子どもの育ちを生涯教育の中で捉え、互いに何が大切なのか、必要なのかを保・幼・小・中学校で話し合うなど、子どもの育ちを広げ、つなげていく実践をされていることを感じました。今後も引き続きよろしく申し上げます。

## 学校教育課に対する外部評価

### ①中学校区等を核とした学びの環境づくり

・ふるさと志向力を育むキャリア教育の推進においては、各中学校で総合的な学習の時間に職業に関する講座や体験の場を設け、実際に地元で働く方々から仕事や生き方を学び、地元の仕事の魅力等にふれることは大切なことだと思います。

### ②ICT環境を生かした魅力ある授業づくり

・コロナウイルス対策関連で子どもたちの教育に大きな影響がでていることと思いますが、菊川市においては、ICT環境整備で県内でも先行的に進めてきました。ICT環境をさらに高めて、今回のような場合にも遠隔でのスムーズな授業実施により、学習が補える環境の整備をお願いしたい。

### ③思いやりに満ちた学校づくり

・適応指導教室においては、定期的に教室を利用した児童生徒9人のうち、3人を学校復帰につなげることができているということで、学校の先生方のご努力に感謝します。

### ④「一人ひとりが生きる教育」の推進

・支援が必要な外国籍児童生徒が増える中、各学校への支援員の配置や「虹の架け橋」への入級により学校生活に適応しやすい環境づくりが図られていると思います。

### ⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

・⑤-(3)-ウの危機管理体制の充実とあるが、危機管理意識の向上とした方が良いと思います。

## 教育総務課(給食センター) 事務事業に対する外部評価

### ⑥学校施設の適正な維持管理・耐震化・長寿命化

・円滑な教育活動が行えるよう適切な計画と工事がされていると思います。

・高額な修繕費がかかりますが、市内中学校の体育館が老朽化が進んでいますので、速やかな改築又は修繕を期待します。

・予算は高額になると思うが、中学校校舎の老朽化が目立つと思います。災害時に体育館等の施設が使用できるのか不安に思います。単に学校教育のためだけに改善していくのが正しいのかと思います。ソフト面においては、学校の先生方の努力によることも大きいと思います。

### ⑦安全で安心して教育が受けられる環境づくり

・幅広く環境づくりができています。エアコンの設置は昨今の夏の暑さを考えると子どもを預ける親としては、とても安心できる事業であったと思います。特別教室への設置も速やかに実施していただきたい。ただ、子どもたちが教室と廊下との温度差がきついと言っていたので、何か解消できる工夫があればお願いします。

・今後、ICT教育は欠かせないものになると感じつつ、メリット・デメリットを伝える授業に期待したい。今の情勢を考えるとICT教育整備には、スピード感も必要だと思います。

### ⑧安全でおいしい給食の安定的な提供

・地元の農産物を使って、安全でおいしい給食の提供ができています。メニューの種類も幅広く、自分たちが食べてきた給食との違いを感じる事が多々あります。給食センターの栄養士さんをはじめ職員の方々の努力を感じます。

・給食環境に関しては大変素晴らしく、一保護者として感謝しています。今後、給食が提供できるのかなど、コロナウイルス対策も大変だと思います。

## 社会教育課（社会教育）に対する外部評価

### ①地域で子どもを守り育てる

・子供会でもボランティアをお願いし、子どもたちに手伝ってもらい、大変助かりました。子どもを持つ親としては、ボランティアをする子は、いろいろなボランティアに参加するが、しない子はまったくしないのが現状のようです。多くの子どもにチャレンジしてもらうには、もっと仕事の内容を具体的に示した方が子どもがやる事が想像しやすく、応募しやすくなると思います。

・巡回指導で問題店舗となった場合、その後の様子確認が必要ではないか。

・書籍特別掲示で終わらず、図書館のデータベースで利用率等の把握も欲しい。

・参加者アンケートを広く各当該地区へフィードバックし、地区センターだより等で紹介する等活用されたら、一層のモチベーションにつながると考えます。

・通学合宿は防災面やボランティア等、幅広く体験できる機会となるので、更に力を入れていくべきだと思います。

### ②家庭の教育力向上

・放課後子ども教室は、子どもたちがいろいろなことにチャレンジできる良い機会だと思います。いろいろな環境で育つ子がいろいろなことにチャレンジできる機会が少しでも増えれば良いと思います。

・学級生1,339名ということですが、分子のみでなく分母(行政側が期待する本来の値)を示してくれると理解しやすい。(数や量でなく率＝質で観るべき)

## 社会教育課（生涯学習）に対する外部評価

### ③生涯学習活動の推進

・高齢者が100歳まで生きる人が増える中、「生涯学習」は大切である。自分で動けるうちは良いが、動けなくなり家から外へ出られなくなった場合はどうするのか？私の経験から「デイサービス」等での学習に力を入れていただくのが有意義であると思います。

・施策(中分類)の各種講座の開催における事務・事業のステップアップ講座の開催やことぶき講座の開催など、わかりやすいもので案内し、多くの市民が参加することが望ましいと思います。これからの超高齢化社会に向かってますます必要になると思います。

・参加者45名全員が女性とのこと。「ことぶき講座」の名称がネックになっているのか、男性が躊躇する点は何なのか等、その要因と思われるものを探する必要を感じます。高齢化社会が進むこと間違いなしの今日、生涯学習事業は大切なはず。定着している講座の受講生からもなぜ参加しているのか、率直な理由を聞かせていただくことも参考になると思います。



## 社会教育課（社会教育）に対する外部評価

### ④鑑賞機会の提供

・施設の老朽化は否めず、一層、日常保守点検が重要となります。計画的な専門家である保守業者と連携した文化会館アエルに日常管理をお願いし、事前に問題個所が発見できるよう速やかな対応を期待します。

### ⑤市民の文化・芸術活動への支援

・子どもは認められると、とても喜びます。子どもたちのがんばりや才能を褒めることができる大切な活動だと思いますので、今後も続けてほしい。

・書初め展は規模の割に展示期間が短く、加えて準備と撤収作業の労力が大きい。一方で会員の高齢化が進み、安全面等で苦慮している。市内全域から参加されていることから、今後は市子ども連合会あるいは各小学校PTA役員会の皆様のボランティア協力が得られないかと考えます。

## 社会教育課（文化振興）に対する外部評価

### ⑥文化財の保存・周知・活用

・文化財保護審議会で協議された大頭龍神社の唐金鳥居の県文化財指定に向けて、スピード感を持って取り組まれるよう強く要請します。

・「菊川市指定文化財マップ」、「菊川市指定文化財ガイド」の作成を急ぐ必要があると思います。

・市内にある郷土資料館にも同じように支援を行うべきだと思います。

## 社会教育課（スポーツ振興）に対する外部評価

### ⑦誰もがスポーツに触れあう機会の創出

・超高齢化社会のため、生涯スポーツの推進は大切であり、体育用備品の貸し出しは良いと思う。それを利用して楽しむには使い方やルール等も知る必要があるため、スポーツ推進委員を中心に地域のスポーツ委員の協力を得て、スポーツ教室等を開催していただく必要があると思う。

・参加者が少ないように思われます。より広く市民に知れるよう広報等を検討しながら、参加者の増加を望みます。また、体育用備品の貸し出しについて、これはあくまで社会教育課の備品であり、例えば各地区センターの備品とすれば、利用者がより増加すると思います。（小さな会場で実施できる競技に限る）予算等が難しいと思われるが、各関係機関と調整して事業の推進を図っていただきたい。

### ⑧スポーツ団体・スポーツ活動への支援

・スポーツ推進委員、スポーツ委員のなり手がないと聞きます。是非とも生涯スポーツ推進のためには必要な役員であるので、市でも人員確保に御尽力いただきたい。

・体育協会自体も会員減少や若者の入会者が少ないなどの悩みを抱えています。どのように対応していくか頭が痛いところです。

・より一層の支援をお願いします。

### ⑨スポーツ活動の場の提供

・体育協会グループとしては、今まで大きな事故もなく来れたことをありがたく思います。体育館や体育施設など全ての施設が老朽化しているため、気が抜けないのが現実です。これからも地道な安全管理に努めることが必要であると思っています。

・北グラウンドの整備事業の遅延は残念です。社会教育課で進めていくことであるが、整備だけでなく維持管理を含めた考えで整備をお願いします。また、スポーツ講座やスポーツ講演会のPR等を行っていくとあるが、具体的にどのように行っていくのか？多くの指導者等が参加できるようにお願いします。

## 図書館 事務事業に対する外部評価

### ⑩子どもの読書活動推進

・幼少期からの読書習慣ということで、7ヶ月児にブックスタートを実施し、意識化としてすばらしい試みだと思う。

### ⑪読書機会の提供・読書活動の啓発

・広汎な人々に読書の機会を提供するため様々な取り組みを実施している。

### ⑫読書環境の整備

・良い環境づくりに尽力されていることがよくわかります。地域資料等の収集とデータ化が楽しみです。

・市内の個人、団体等が所蔵している諸々の史料(資料)は散逸の危険性が高いため、市が積極的に収集・管理する必要がある。

## 総評:教育委員会全般について

・新型コロナウイルスの影響下で子どもたちが学校で学習できない日々が続いています。オンライン授業等、いろいろな方策が聞かれますが、人と人が互いに学び合い、伸びていく学校という場が子どもたちの成長にとって、どれほど大切かを考えると、今、子どもたちの置かれている状況が気の毒でなりません。学校の授業再開の折には、どうか物・人心の両面で学校現場への支援をお願いしたい。

・図書館協議会に関わらせていただき、図書館に関わる皆様が多方面にわたり、本当に尽力されていることがわかりました。スマホ1台であらゆることが事足りそうな時代です。地図帳や時刻表も不要になりつつありますが、文字を知り、文章に触れ、創造と想像の世界を広げていく読書活動の大切さ、文化を育て守っていく役割など、図書館の役割を深く感じています。多くの人が本を手にするようになっていただきたいと思います。

・子どもが2人菊川西中にお世話になっています。新学期が始まってコロナの影響でほとんど学校に行けず親子共々不安な日々を送っていますが、そんな中でも先生方はユーチューブで動画を配信してくださり、学校とのつながりや先生方を身近に感じることができました。他の学校のことはわかりませんが、我が子を見る限り、菊川市の教育現場は子どもを安心して預けることができると思います。コロナの影響でハード面はもちろん、ソフト面のフォローが重要になってくると思います。早くコロナが終息してくれるのが一番良いのですが、長期化した場合でも子どもたちが十分な教育(心の教育も)を受けられる様に一人の親として期待しています。

・新型コロナウイルスで大変な時に職員の皆様のご苦勞を思い、そんな中でも菊川市の子ども達のことを真剣に考え、業務されていることに、心よりお礼申し上げます。子ども達の元気な声が響き、楽しい園生活、学校生活が一日も早く再開できることを願っています。

・近年著しい環境の変化により、自然災害が多くなったように感じられます。一例としてソーラーパネルです。山野、田畑に設置するというは当然の如く熱エネルギーの吸収から放出へと変化し、気温が上昇し温暖化の一因となり災害となるかもしれません。今や人間の都合ではなく、自然界に人間が合わせる教育が必要かも感じられます。中々急な方向転換は難しいかもしれませんが、一つに子ども達に今何をすべきか、判断能力を養うために、机上の勉強も大切ですが、実体験教育の時間を増やしてみてもはどうでしょうか？雑談ではありますが、非常時に大切な命を救うことができるかもしれません。

・私の地区では、社会教育委員は年間通しても、これという役割がありません。自治会順番の選出であり、入学式や卒業式への参加もなく、恐らく中央公民館の会議だけだと思います。そう考えると成人式への参加は別として、地域への貢献も僅かなもので終わっているように感じます。市内各地で足並み揃えた役割が少しでも果たせるような姿を期待するところです。地域間格差が残ったままの現在の状況は残念に思います。

・いろいろな事業を推進していただき御苦勞様です。全般的なことではありませんが、生涯学習講座、ステップアップ講座、ことぶき講座等では、受講生が少ないとその講座が取りやめになると聞きました。資料を見せていただくと定員が決まっているようで、特に申込み定員の少ない講座は取りやめになるようです。少しでも市の活動を維持するためにも、あまりにも定員が少ない場合を除き、開催してはどうでしょうか？講師の都合と予算等の課題があると思いますが、ご検討をお願いします。

・教職員の皆様におかれましては、今回の新型コロナウイルス対策関連で大変な忙しさとお苦勞をされていることであろうと察します。くれぐれも健康には十分留意なさっていただくとともに、ご自身の家庭生活を守りながら、授業再開に向けた準備と再開後の子どもたちの教育の充実にお力添えをお願い申し上げます。

・それぞれの事業が的確に進められているように感じます。また、点検評価においても概ね妥当な評価がなされていると思います。私自身の感覚で少し指摘もさせていただきましたが、勘違いしている場合もありますので、その点についてはご容赦願いたいと思います。



## 教育委員会点検・評価報告書

令和2年6月

菊川市 教育委員会 教育総務課

〒437-1514

静岡県菊川市下平川 6225

TEL 0537-73-1136 FAX 0537-73-1119

E-mail : [kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp](mailto:kyouiku@city.kikugawa.shizuoka.jp)